

目录



I. 2019年12月期 第二季度 决算概要

P2

I. 2019年12月期第二季度决算概要

- ●决算摘要(合并)
- ●销售额及各领域销售额构成
- ●订单额及订单余额
- ●营业利润
- ●销售额(2019年第二季度)
- ●订单额及订单余额(2019年第二季度)
- ●营业利润(2019年第二季度)
- ●财务状况
- ●现金流量状况

决算摘要(合并)



业绩大幅增长

- 销售额构成呈现多样化发展。非北美系销售额占70%。
- 智能手机以中国/韩国系为中心,满足3D、装饰膜、摄像头模块的高功能化等需求。本公司 面向摄像头镜片、loT、LED引领市场,销售额稳步增长。
- 虽然第二季度前半订单额稳步增长,但随后受中美贸易摩擦的影响,顾客在下单方面呈观望态度。
- 很多顾客开始要求缩短供货期,目前需要与顾客逐个开展细致交涉。
- 与2019年业绩估计相比,第二季度达成率为销售额58%、经常利润64%、净利润71%。

(百万日元)

	2018年12月期	2019年12月期	
	第二季度累计	第二季度累计	同比
销售额	21,811	26,677	+22.3%
营业利润	5,425	7,396	+36.3%
(营业利润率)	(24.9%)	(27.7%)	_
经常利润	5,719	7,262	+27.0%
归属母公司股东 季度 净利润	3,972	5,994	+50.9%
研发费	1,603	1,478	△7.8%

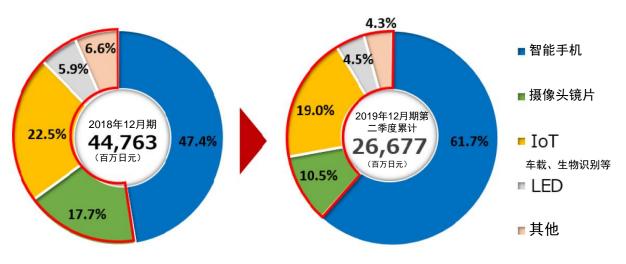
销售额及各领域销售额构成



- 溅镀装置销售额占六成,主要受2019年第一季度溅镀装置增加影响。
- 智能手机销售额的中国/韩国系比率增加,与北美系相比为1:1。
- 摄像头镜片继续呈现功能高度化,销售额稳步增长。
- IoT除生物识别外,在车载方面仪表板用溅镀装置为订单额和销售额作出贡献。
- LED的新型DBR成膜装置为销售额作出贡献。



各领域销售额构成



订单额及订单余额





<2019年第二季度累计订单额>

- 订单额与上一年度第二季度保持相同水平,体现出2019年第一季度订单额减少的影响。
- 订单额构成为蒸镀装置比溅镀装置10: 7。
- 2019年第一季度走低,虽然第二季度有回暖迹象,但后半段明显受到中美贸易摩擦影响。
- 智能手机方面,中国、韩国、台湾等市场的订单额稳步增长;摄像头镜片方面,中国监控摄像头制造商的高功能成膜装置订单额稳定增加。
- IoT方面,除生物识别之外,新型装置的车载仪表板用及LED的DBR/TCO膜用成膜装置同样确保了订单量。

营业利润



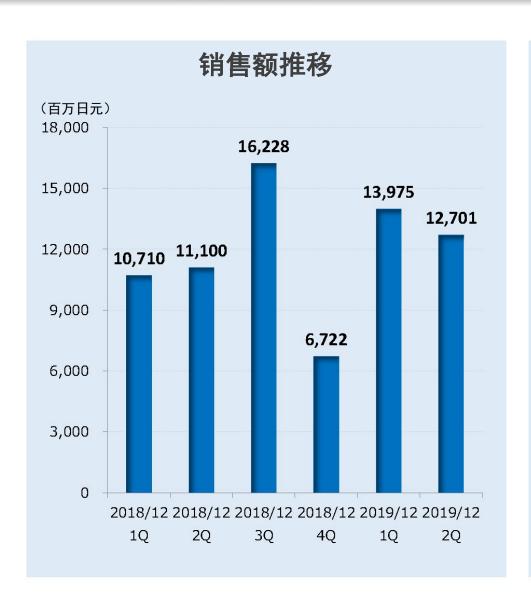


<2019年第二季度累计营业利润>

- 营业利润率保持高水平, 达 27.7%(同比增加2.8%)
- 成本率同比大致持平,销售管理费减少2.9%,为改善营业利润率作出贡献
- 对销售额增加有正面影响。

销售额(2019年第二季度)





<2019年第二季度销售额>

- 销售额同比增加,达127亿日元。
- 智能手机方面,中国及韩国制造商行 情良好。非北美系销售额占80%。
- 满足3D、箱体背部玻璃、装饰膜、摄像头模块高功能化等需求。
- 摄像头镜片方面,监控摄像头制造商等的销售额稳步增长。
- 在IoT领域凭借车载、生物识别、半导体、光通信确保销售额。
- 新型装置LED用DBR及TCO装置、车 载仪表板用成膜装置为订单额及销售 额作出贡献。

订单额及订单余额(2019年第二季度)





<2019年第二季度订单额>

- 订单额同比持平。
- 2019年第一季度订单额走低,虽然 第二季度有回暖迹象,但后半段明显 受到中美贸易摩擦的影响,订单额再 次低迷。
- 然而, 高功能成膜需求坚挺, 整体而 言顾客对高性能成膜装置的需求潜力 很大。

营业利润(2019年第二季度)





<2019年第二季度营业利润>

- 营业利润率保持高水平, 达25.7%
- 与2019年第一季度相比减少3.8% 主要原因在于成本率增加2.9%,销售 管理费增加1%
- 其中,成本率为60.4%(与上一季度相 比增长2.9%),但实际上为57.8%, 基本持平

(说明)在合并会计中要减去上海的库存利润,即成本增加2.6%,实际成本率为57.8%(与2019年第一季度持平)

● 销售额减少,导致销售管理费率增加 (与上一季度相比增长1%)

财务状况



(百万日元)

	2018年12月末		2019年6月末		
	金额	构成比	金额	构成比	增减金额
流动资产	48,142	86.5%	47,957	85.9%	△184
现金及存款	15,740	28.3%	26,089	46.8%	+10,348
应收票据及应收账款	6,837	12.3%	5,665	10.2%	△1,171
存货资产	24,487	44.0%	15,780	28.3%	△8,707
坏账准备	△420	△0.8%	△483	△0.9%	△63
其他	1,497	2.7%	906	1.6%	△591
固定资产	7,501	13.5%	7,840	14.1%	+338
资产合计	55,644	100.0%	55,798	100.0%	+153
流动负债	25,922	46.6%	22,687	40.7%	△3,235
应付票据及应付账款	1,652	3.0%	3,463	6.2%	+1,811
短期有息负债	756	1.4%	572	1.0%	△184
应付法人税	1,143	2.1%	1,161	2.1%	+17
预收款	20,108	36.1%	15,658	28.1%	△4,450
其他	2,261	4.1%	1,831	3.3%	△430
固定负债	1,658	3.0%	1,611	2.9%	△47
长期有息负债	233	0.4%	208	0.4%	△25
其他	1,425	2.6%	1,402	2.5%	△22
负债合计	27,581	49.6%	24,298	43.5%	△3,282
净资产合计	28,062	50.4%	31,499	56.5%	+3,436
负债净资产合计	55,644	100.0%	55,798	100.0%	+153

- 销售额增加导致现金及存款增加
- 销售额增加导致存货资产减少

• 计入销售额导致预收款减少

现金流量状况



(百万日元)

	2018年12月期第二季度累 计	2019年12月期第二季度累计		主要原因
	金额	金额	增减金额	
营业活动的现金流量	△2,304	14,232	+16,536	• 销售额增加导致存货资产及预收款减少
投资活动的现金流量	△926	△1,079	△153	• 缴纳股金的支出
财务活动的现金流量	△5,413	△2,389	+3,023	• 股息的支出
现金及现金等价物的折算差额	△226	△414	△187	
现金及现金等价物的增减金额	△8,871	10,348	+19,219	
现金及现金等价物的期初余额	19,893	15,740	△4,153	
现金及现金等价物的期末(季度) 余额	11,022	26,089	+15,066	

II. Appendix

- ●2019年12月期 業績予想
- ●株主還元 配当

2019年12月期 業績予想



増収・増益を目指す。

(百万円)

	2018年12月期実績	2019年12月期予想	
	2010年1271701天假	2010年127月7月17	前期比
売上高	44, 763	46, 000	+2. 8%
営業利益	10, 690	11, 300	+5. 7%
(営業利益率)	(23. 9%)	(24. 6%)	_
経常利益	10, 992	11, 300	+2. 8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7, 745	8, 400	+8. 4%
研究開発費	3, 103	3, 900	+25. 7%

株主還元 配当



- <u>2018年12月期 配当(55円)、29.3%(配当性向)</u>
- <u>2019年12月期 配当予想(60円)、29.6%(配当性向)</u>

配当方針

研究開発投資、生産体制強化、新事業開拓等の必要な内部留保資金 を確保しつつ、余力は株主還元を 最大限実施します。

連結配当性向30%程度を目安に、安 定的な配当を目指します。



免責事項・注意事項ならびにお問合せ先



当資料に記載された内容は、2019年8月7日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」 (forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通 貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今 後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表 に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではあり ません。

【お問合せ先】

E-mail: ir-info@optorun.co.jp TEL: 03-6635-9487